

神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会 【NO. 25-7】 2025年12月24日発行

横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館6F TEL045-201-3900・FAX045-212-5745

2025 年が終わります。本年は大変お世話になりました。自民党と日本維新の会による高市連立政権は、大軍拡の道をひた走ろうとしています。2026 年は、いつ総選挙があってもおかしくない情勢です。「大軍拡」と「社会保障削減」に突きすすむ政治を終わらせるために全力をつくしあいましょう。

「子ども子育て支援納付金に係る保険料の実質的負担増が生じないことを求める要望書」を国に提出！！

神奈川県と全市町村、国保組合、広域連合

12 月 17 日、神奈川県と全市町村、建設国保などの国保組合、後期高齢者医療広域連合の連名で、「子ども子育て支援納付金に係る保険料の実質的負担増が生じないことを求める要望書」を国に提出しました。

健康保険の 2026 年度の保険料（税）率の改定では、新たに「子ども子育て支援金分」が賦課されます。国民健康保険では、全国平均で、1 人月額 250 円と試算されています（2 年目 300 円、3 年目 400 円）。ただし、18 歳までの子どもには賦課しないので、1 人当たりの保険料はもっと増えます。後期高齢者医療は、1 人月額 200 円と試算されていますが、国保と同様に年々増えることとされています。

この秋、神奈川社保協は県内の全市町村の国保担当課と懇談しています。来年の保険料（税）率は「据え置き」にするという姿勢の自治体が多いのですが、「子ども子育て支援金分」が新たに賦課されることから、全ての自治体で引き上げとなってしまいます。「税金で賄うべきものを保険料からとるのはおかしい」と市町村の課長等は異口同音に不満を漏らしています。11 月に行った神奈川県との交渉では、「実質的な負担増とならないよう国が手立てをとることの要望書を、神奈川県と市町村、後期高齢者医療広域連合、国保組合の連名で出す」と回答があり、12 月 17 日に以下の項目で要望書が提出されました。



12.19 西湘社保協の小田原市との懇談

1. 子ども・子育て支援納付金に係る保険料が「実質的な負担増」とならないことについて、政府の責任において議会及び被保険者の理解促進を図ること。そのための説明資料を速やかに作成し政府の責任において周知すること。
2. 「実質的な負担増」となる場合、改正法附則第 47 条第 5 項に基づき、必要な財政支援措置等を速やかに行うこと。

神奈川県を先頭にこうした動きは、私たちの運動を大きく励ますものとなっています。神奈川県社保協として、中央社保協や関東甲ブロックの都県社保協と協議し、年明けから署名等の運動を行い、子ども家庭庁と厚労省への要請・交渉を組もうと確認しています。年明け後、具体的な運動提起ができるよう準備します

茅ヶ崎社保協が茅ヶ崎市保険年金課等と懇談

11 月 20 日、茅ヶ崎社保協は 7 人が参加して、茅ヶ崎市の国保問題等の懇談をしました。茅ヶ崎市からは保険年金課などから 5 人参加しました。国保料の 2024 年度の決算における収納率は、88.91%、前年より 0.86% 向上。国保料の滞納者数は、2025 年 6 月 1 日時点で 3718 人。2024 年度決算における差押件数は 428 件。

国保の被保険者の一人当たり年間医療費の平均は、22 年度 357,406 円、23 年度 373,460 円、24 年度 366,711 円。後期高齢者医療の被保険者の一人当たり年間医療費の平均は、22 年度 862,554 円、23 年度 895,868 円、24 年度 900,601 円。国保の基金からの取り崩し額は 2 億 8000 万円で、基金残高は 6 億 2067 万 4740 円。県の統一保険料化により保険料は高くなる見込みだか、被保険者の負担は少なくしたいとのこと。介護保険は、基金から 15 億円を 3 年間に分けて活用し、保険料を下げていく予定とのこと。＜茅ヶ崎社保協 斎藤和夫事務局長より＞

訪問介護費の引下げ撤回、介護報酬再改定求める運動を！！

12.7 介護保険のいまと未来を考えるつどい

12月7日、「介護保険のいまと未来を考えるつどい」を建設プラザかながわで開催しました。会場23人、オンライン8カ所の参加でした。つどいは介護利用者と家族、介護事業者、県社保協加盟の団体と労働組合などでつくる実行委員会の主催。

星めぐみさん（生協労連ユーコープ労組）の司会で開会し、全日本民医連の林さんからわかりやすく熱のこもった講演を受け、根本事務局長の報告のあと質疑を受けました。工藤さん（介護事業所こみゆにてい）、三橋さん（認知症の人と家族の会）、田中さん（うしおだ老健やすらぎ）、野川さん（ユーコープ労組）、藤田さん（看護師・ケアマネ）から取り組みなどの報告・発言がありました。相楽育雄さん（民医連）が今後の殿組みを提起し、伍淑子さん（年金者組合）の閉会あいさつで閉会しました。

林泰則さんは、STOP！介護崩壊～これ以上の負担増・サービス縮小は許されない～というテーマでお話ししていただきました。

介護保険制度の成立から、歴代の政府による介護保険制度の改悪が繰り返され、保険あって介護なしの実状をリアルに話されました。介護現場の人手不足も深刻で、このままでは介護の担い手がなくなり、介護保険制度そのものが崩壊しかねない。政府はこうした状況にもかかわらず、「利用料2割負担の対象拡大」、「ケアプランの有料化」、「要介護1、2の保険給付外し（市町村の総合事業に移行）」など、さらなる改悪をすすめようとしている。

これ以上の改悪はさせない、止める運動をすすめようと呼びかけました。



<今後の取り組み>

- ①「介護保険制度改善と大幅な処遇改善を求める請願署名」を広げましょう（集約2026年2月と5月）。署名提出の国会議員要請行動への参加をすすめ、地元国会議員に署名の紹介議員になっていただきます。
- ②各市町村では、2027～2029年度の第10期事業計画の策定が来秋から始まります。「保険料を引き下げて」などの要求を持ち寄り、市町村との懇談をすすめましょう。
- ③神奈川県と33市町村の2・3月議会に「訪問介護費の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を求める意見書提出の請願（陳情）」の提出運動をすすめましょう。
- ④地域の諸団体・個人が連携して、地域での介護保険についての学習会を開催しましょう。

※介護のつどい資料は、県社保協のホームページにアップしています。 <https://kanagawa-shahokyou.jp>

神奈川年金違憲訴訟差し戻し審結審、2月26日判決！！

12月22日（月）午前10時30分から、東京高裁で開かれた年金違憲訴訟の公判は、高橋宏弁護士による財産権侵害、無前提賦課方式論は誤り、修正積立金である、積立金取り崩しなど新たな立証をするために次の公判を求めましたが却下されました。

続いて、井上弁護士による伊藤周平鹿児島大学教授の証人尋問が行われました。伊藤氏は、積立法式と賦課方式の論点に加え、生活保護裁判（いのちのとりで裁判）と同様に生活実態からの統計的合理性に言及しました。伊藤氏は、最後に「物価高で厳しい生活を強いられている高齢者の声なき声を聞き、判断過程審査で高齢者の人権を守ってほしい」と訴えました。

北風の強い中、約100人の傍聴者が見守る中、結審。判決の言い渡しは、来年2月25日（水）午後4時からとなりました。<年金者組合より>



今こそ社会保障の充実を、いのちと暮らしを守れ！！

川崎市社保協は12月17日、第32回定期総会を市内の産業振興会館で開催しました。56名が参加し、「医療費4兆円削減と、それがもたらす市民への影響」と題して、中央社保協事務局長の林信悟さんが記念講演を行いました。

林事務局長は、高市政権の「大軍拡」と「社会保障大改悪」の下での社会保障の大改悪メニューの、自民・維新の連立で急浮上するスイッチ OTC と病床削減が進行する現状を報告し、大軍拡と社会保障切り捨ての「前世代型社会保障」から「人間の尊厳を守り生活を豊かにする」社会保障にしていこうと呼びかけました。

また、「地域から声を上げれば変えられる」とし、具体的な話として中学校卒業までの医療費無料化が全国で広がっている例を示し2024年度には100%の自治体で実施されたことなどを語りました。そして、地域社保協の果たす役割の大きさや全国で行われている自治体キャラバンの取り組みの「6つの意義」を報告しました。

光野事務局長より活動報告、鷺北事務局員より会計報告が行われ、参加団体の活動報告では、医療生協が「地域医療を守れ」の署名を2万筆の目標で取り組んでいる様子、神奈川土建からは、マイナ保険証をめぐる取り組みとして、「従来の保険証を残せ」の取り組みの報告が行われました。民商は、倉敷民商弾圧事件で不当逮捕された福屋町子さんが428日の長期にわたって拘束された事件の告発を行い、新婦人は小児医療費中学卒業までの無償化を勝ち取った経験、学校給食無償化署名の取り組みなどを報告しました。年金者組合、生活と健康を守る会、労連、公害患者会からも貴重な運動の取り組みが報告されました。その後、新役員の選出を行い4人の代表委員、22人の幹事を選出し、新役員を代表して、代表委員の児玉桃太郎さんの決意表明を行い、川崎市社保協第32期のたたかいがスタートしました。＜川崎市社保協・光野正洋事務局長より＞

川崎市社保協総会



42人参加、熱気あふれる定期総会!!

11月29日、平塚勤労会館会議室で「第22回平塚地域社会保障推進協議会総会」を開催し、加盟団体から42名参加しました。

第一部は、総会の前に情勢学習会として、平塚民主商工会・事務局長の富岡司さんを講師に「新しい情勢での消費税減税運動の展望」と題し消費税減税運動の押さえておくべきところを分かりやすい口調で講義して頂きました。減税否定論にスパッと反論できる知識を身につけ身内だけでなく周囲に伝え世の中の多数派にしていく事の重要性を強調されていました。

そして、学習会で参加者の気持ちが高まってきたところで総会が始まりました。県社保協の根本事務局長からの挨拶、原会長の挨拶の後、議事が進行されました。今期の活動報告があり、来期の運動方針が提案されました。活動報告では、各自治体議会への請願・陳情行動や各保険年金課との懇談、毎月定例の駅頭宣伝などが報告されました。参加者からは、運動方針を補強する立場から各加盟団体の豊かな取り組み内容が報告されました。当日は、寒さ厳しい日でしたが暖房がいらなくらいの参加者の熱気の中で閉会となりました。

＜平塚地域社保協 杉崎憲事務局長より＞

平塚地域社保協



いままでの健康保険証の復活を!!

マイナ保険証を一元化とする12月2日、なくすな保険証神奈川県連絡会として、桜木町駅前で宣伝署名行動を実施しました。参加は7団体21名、チラシ・ティッシュ500配布、保険証復活署名20筆、シール投票約50でした。人通りは少なかったのですが、あちこちで対話の輪が広がりました。神奈川新聞が取材に来て、翌日記事がでました。

12.2 桜木町駅前宣伝行動



2.6 「高齢期のつどい in 藤沢」

への参加をすすめよう！！

「輝け！高齢期かながわのつどい」は、「ひとりぼっちの高齢者をなくそう！」を合言葉に 2004 年から、神奈川県内各地域で開催し、講演会や文化交流などを行っています。

2月6日（金）11時から藤沢市民会館で、「戦後 80 年 守ろう！平和と高齢者の人権～分断・対立を超えて豊かな社会へ～」をテーマに、「輝け！高齢期かながわのつどい in 藤沢」を開催します。

記念講演は、1991 年に大ベストセラー「豊かさとは何か」を著した暉峻淑子（てるおかいつこ）さんです。講演の題名は、「高齢者の人権はどうなる？～豊かな社会と人生を生き抜くために～」です。

高齢期のつどいの前日が暉峻さんの誕生日で 98 歳を迎えます。今年 11 月の日本高齢者大会 in さいたまで学習講演し、大好評でした。

高齢期のつどい in 藤沢では、うたごえ、腹話術、手品など、地元のみなさんによる文化企画、介護学習企画も準備しています。

多くの方の参加をお待ちしています。

第 18 回 輝け！高齢期かながわのつどい in 藤沢

戦後 80 年 守ろう！平和と高齢者の人権

～分断・対立をこえて豊かな社会へ～

2026 年 2 月 6 日（金）11:00～15:30（開場 10:30）

会場：藤沢市民会館（JR 藤沢駅南口）＊午後は 13:30～

午
前
の
部

オープニング・記念講演・基調報告・特別報告

記念講演 高齢者の人権はどうなる？
～豊かな社会と人生を生き抜くために～



てるおか いつこ
暉峻 淑子さん 埼玉大学名誉教授・経済学者

1991 年「豊かさとは何か」を著してベストセラーに。居住地の練馬区でさまざまな問題を地域の人たちを話し合う「対話的研究会」を長年にわたって毎月開催。98 歳を迎える暉峻淑子さんが、みなさんにお話します。

午
後
の
部

文化企画（うたごえ合唱、腹話術ほか）

介護学習企画

＊同時開催のため両方の参加はできません

資料代 500 円



個人申込の方は下記に必要事項を記入し、このチラシを FAX してください

氏名

電話

住所

団体

申込

必要枚数を申込先（主催）にご連絡ください。神奈川県民連合会各法人はエクセルファイルを送ります。県連事務局担当者へメールに添付してお申込みください。チケットは現金扱いです。精算は団体ごとにチケット半券分（売上分枚数）とチケット代金（現金）の両方を主催者へお支払いください。

問合せ

申込先

輝け！高齢期かながわのつどい in 藤沢 実行委員会（主催）

電話 045-663-4061 (fax) 045-663-4062（担当 伍）

＜ 1 月の主な行動・会議日程 ＞

- 1 月 6 日（火）県民要求連絡会事務局会議 13:30 県職労連会議室
年金者組合旗開き 16:30 年金者組合会議室
神奈川土建新年旗開き 18:30 重慶飯店（ローズホテル）
- 1 月 7 日（水）中央社保協運営委員会＆介護・障碍部会 10:30 医療労働会館＋（ZOOM）
- 1 月 8 日（木）神奈川県生協連新年賀詞交換会 10:30 ワークピア横浜 2F
- 1 月 9 日（金）県社保協常幹・幹事会合同会議 14:00 保険医協会会議室＋（ZOOM）
- 1 月 10 日（土）神奈川労連新年旗開き 17:30 横浜市従会館 4F
- 1 月 12 日（月）最低賃金成人式宣伝行動 11:30 新横浜駅前
- 1 月 13 日（火）県社保協組織財政検討委員会 15:00 保険医協会会議室
消費税ネット世話人・事務局会議 18:30 神商連会議室＋（ZOOM）
- 1 月 19 日（月）神奈川土建茅ヶ崎・寒川支部パートナーの会介護・年金学習会 10:00
- 1 月 20 日（火）介護のつどい実行委員会 10:30 民医連会議室＋（ZOOM）
高齢期運動連絡会幹事会 14:00 年金者組合会議室
保険医協会新年会 19:30 ベイシェラトンホテル＆タワーズ
- 1 月 21 日（水）神奈川土建西相支部パートナーの会介護・年金学習会 13:00
2.6 高齢期のつどい in 藤沢実行委員会 18:30 医療生協かながわ藤沢診療所会議室
3.13 重税反対行動実行委員会学習会 19:00 神商連会館 4F 会議室
- 1 月 22 日（木）神奈川土建座間・海老名支部パートナーの会介護・年金学習会 10:00
- 1 月 27 日（火）県社保協医療保険改善委員会 10:00 神商連会議室＋（ZOOM）
- 1 月 28 日（水）神奈川県国会行動 10:00 衆議院第二議員会館多目的会議室
- 1 月 29 日（木）神奈川土建大和支部パートナーの会介護・年金学習会 13:00
神奈川土建厚木支部パートナーの会介護・年金学習会 13:00
- 1 月 30 日（金）国民大運動実行委員会総会 15:00 民医連会議室＋（ZOOM）
- 2 月 2 日（月）2.1 高齢者中央集会 10:30 衆議院第二議員会館第 1 会議室